

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 寺崎電気産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6637 URL <https://www.terasaki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 寺崎 泰造

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画担当 (氏名) 那須 修三 TEL 06-6791-2701

配当支払開始予定日－

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	44,874	8.5	4,266	9.1	4,559	5.3	3,054	2.4
2025年3月期第3四半期	41,350	8.3	3,912	19.2	4,331	11.1	2,981	△2.3

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 5,623百万円 (41.1%) 2025年3月期第3四半期 3,984百万円 (2.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	235.17	—
2025年3月期第3四半期	228.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	76,176	52,903	69.4	4,313.53
2025年3月期	73,896	51,432	69.6	3,947.56

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 52,903百万円 2025年3月期 51,432百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	10.00	—	30.00	40.00
2026年3月期	—	20.00	—		
2026年3月期（予想）				23.00	43.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,370	5.3	5,700	1.5	5,890	△2.7	4,160	△6.5	319.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

なお、連結子会社であるELECTRIMEC ASIA PACIFIC PTE. LTD. につきましては、2025年10月27日に解散決議を行い、現在清算手続き中であります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	13,030,000株	2025年3月期	13,030,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	765,325株	2025年3月期	1,117株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	12,987,133株	2025年3月期3Q	13,028,896株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束をする趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、決算発表終了後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国の対外経済政策による先行き不透明感に加え、地政学リスクの継続や金融資本市場の変動等の影響を受け、景気の持ち直しのペースは緩やかなものとなりました。

米国では、雇用情勢の悪化により個人消費が減少したものの、政策金利の断続的な引き下げに加えて、設備投資が安定して推移したことで、景気は底堅く推移しました。欧州の主要国及び英国では、通商政策を巡る不確実性が低下したことに加え、堅調な雇用・所得環境や資産効果が個人消費の下支えとなり、景気は緩やかに持ち直しました。中国では、政府の経済対策による下支えがあったものの、不動産市場の停滞が続いたことに加え、個人消費も伸び悩んだことで、景気は減速傾向となりました。

わが国においては、米国の通商政策による影響が一部でみられたものの、設備投資や個人消費に持ち直しの動きがみられ、景気は緩やかに回復しました。

当社グループを取り巻く経済環境は、国内において、深刻化している人手不足を背景に、省力化・デジタル化を目的とした投資、生成AI等に関連した投資が継続しており、設備投資が堅調に推移しました。海外においては、脱炭素社会に向けた投資に一部地域で減速する動きがみられたものの、生成AI等による電力需要の増加を背景に、設備投資が堅調に推移しました。当社の主要顧客である造船業界においては、船舶需要の不確実性は高まっているものの、船価は高い水準で推移しており、海上輸送の脱炭素実現に向けた次世代燃料船需要の継続により、手持ち工事量は高い水準を維持しています。また、経済安全保障を背景とした造船業界への投資も計画されています。一方、銅や銀をはじめとする原材料価格は高騰が続き、製品コストへの影響は深刻化しつつあります。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は、船舶用システム製品（船舶用配電制御システム等）及び産業用システム製品が好調に推移したことにより、44,874百万円と前年同期比8.5%の増加となりました。営業利益は、為替が前年同期に比べ円高基調で推移したものの、売上量拡大により、4,266百万円と前年同期比9.1%の増益、経常利益は4,559百万円と前年同期比5.3%の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、3,054百万円と前年同期比2.4%の増益となりました。

製品別の売上高は、システム製品（配電制御システム等）が26,590百万円と前年同期比14.7%の増加、機器製品（低圧遮断器等）が18,284百万円と前年同期比0.6%の増加となりました。

システム製品の受注高は、前年同期を9.6%下回ったものの、38,492百万円と高い水準で推移しました。その結果、受注残高は前連結会計年度末より11,901百万円増加し、71,317百万円となりました。

なお、機器製品は、計画生産を行っているため、上記受注高、受注残高には含めておりません。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は以下のとおりです。

「日本」

船舶用システム製品の売上は、陸電供給システム、LNG運搬船、ばら積み船及び自動車運搬船向け等が増加したことにより、前年同期と比べ大幅に増加しました。

産業用システム製品の売上は、国内におけるグリーンエネルギー関連の発電プラント向け及びコージェネレーションシステム等の分散型エネルギー関連向けが増加したことにより、前年同期と比べ大幅に増加しました。

メディカルデバイスの売上は、医療機器の設備投資が低調に推移したことにより、前年同期と比べ減少しました。

エンジニアリング及びライフサイクルサービスの売上は、国内鉄道関連施設のエンジニアリング案件が減少したことにより、前年同期と比べ減少しました。

以上により、システム製品全体の売上は前年同期と比べ増加しました。

機器製品の売上は、国内での設備投資が底堅く推移したものの、海外において欧州向けが低調に推移したことにより、前年同期と比べ減少しました。

その結果、当セグメントの売上高は20,539百万円と前年同期比6.1%の増加、セグメント利益は2,858百万円と前年同期比4.8%の増益となりました。

「アジア」

船舶用システム製品の売上は、LNG運搬船をはじめ、いずれの船種向けも好調に推移したことから、前年同期と比べ大幅に増加しました。

エンジニアリング及びライフサイクルサービスの売上は、船舶向けの換装工事が減少したこと等により、前年同期と比べ減少しました。

機器製品の売上は、中国船舶市場向け及びマレーシア国内向けで堅調に推移したことにより、前年同期と比べ増加しました。

その結果、当セグメントの売上高は19,046百万円と前年同期比15.4%の増加、セグメント利益は1,927百万円と前年同期比27.0%の増益となりました。

「ヨーロッパ」

機器製品の売上は、英国内及び中東向けにおいて低調に推移したことにより、前年同期と比べ減少しました。

エンジニアリング及びライフサイクルサービスの売上は、船舶向けブレーカの更新工事が堅調に推移したことにより、前年同期と比べ増加しました。

その結果、当セグメントの売上高は5,289百万円と前年同期比3.7%の減少、セグメント利益は345百万円と前年同期比20.7%の減益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産の部では、棚卸資産が前期末比3,615百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が前期末比762百万円それぞれ増加した一方、現金及び預金が前期末比4,376百万円減少したこと等から、流動資産は前期末比46百万円減少し、51,153百万円となりました。固定資産では、有形固定資産が前期末比1,449百万円、投資有価証券が前期末比532百万円それぞれ増加したこと等により、前期末比2,326百万円増加し、25,022百万円となりました。

その結果、資産合計は、前期末比2,279百万円増加し、76,176百万円となりました。

負債の部では、未払法人税等が前期末比415百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が前期末比861百万円、電子記録債務が前期末比347百万円増加し、加えて、短期借入金が前期末比250百万円増加したこと等から、流動負債は前期末比1,192百万円増加し、17,800百万円となりました。固定負債では、長期借入金が前期末比829百万円減少したこと等により、前期末比383百万円減少し、5,471百万円となりました。

その結果、負債合計は前期末比808百万円増加し、23,272百万円となりました。

純資産の部では、自己株式が前期末比3,499百万円増加(純資産は減少)した一方、為替換算調整勘定が前期末比2,388百万円、その他有価証券評価差額金が364百万円増加し、加えて、親会社株主に帰属する四半期純利益3,054百万円の計上により利益剰余金が2,402百万円増加したこと等から、純資産合計は前期末比1,471百万円増加し、52,903百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月15日開示の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,614,783	13,238,529
受取手形、売掛金及び契約資産	13,993,909	14,756,234
商品及び製品	7,592,799	8,048,783
仕掛品	5,778,328	8,456,589
原材料及び貯蔵品	3,677,865	4,159,445
その他	2,678,224	2,609,829
貸倒引当金	△136,529	△116,342
流動資産合計	51,199,382	51,153,069
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,957,395	13,775,978
減価償却累計額	△5,923,381	△6,455,941
建物及び構築物（純額）	7,034,013	7,320,036
機械装置及び運搬具	9,871,224	11,890,484
減価償却累計額	△7,876,565	△8,896,647
機械装置及び運搬具（純額）	1,994,658	2,993,836
工具、器具及び備品	9,385,565	9,649,035
減価償却累計額	△8,803,727	△9,029,297
工具、器具及び備品（純額）	581,837	619,738
土地	2,701,600	2,702,959
リース資産	2,464,925	2,903,096
減価償却累計額	△1,000,631	△1,318,697
リース資産（純額）	1,464,293	1,584,398
建設仮勘定	297,373	302,306
有形固定資産合計	14,073,777	15,523,277
無形固定資産		
その他	160,216	180,702
無形固定資産合計	160,216	180,702
投資その他の資産		
投資有価証券	1,143,456	1,675,910
退職給付に係る資産	6,379,442	6,313,751
繰延税金資産	412,500	497,261
その他	658,903	963,578
貸倒引当金	△131,544	△131,544
投資その他の資産合計	8,462,758	9,318,957
固定資産合計	22,696,752	25,022,936
資産合計	73,896,135	76,176,005

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,456,504	5,318,141
電子記録債務	3,587,838	3,935,511
短期借入金	180,000	430,000
1年内返済予定の長期借入金	1,198,000	1,129,250
未払法人税等	897,914	482,877
未払費用	2,255,207	2,488,481
製品保証引当金	121,697	158,759
その他	3,911,307	3,857,462
流動負債合計	16,608,469	17,800,483
固定負債		
長期借入金	1,878,500	1,048,750
繰延税金負債	1,905,197	2,163,595
退職給付に係る負債	450,789	480,957
その他	1,620,915	1,778,226
固定負債合計	5,855,401	5,471,529
負債合計	22,463,871	23,272,012
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,236,640	1,236,640
資本剰余金	2,244,650	2,244,650
利益剰余金	40,568,523	42,971,311
自己株式	△1,624	△3,501,555
株主資本合計	44,048,189	42,951,046
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	688,443	1,052,478
為替換算調整勘定	4,374,134	6,762,248
退職給付に係る調整累計額	2,321,497	2,138,219
その他の包括利益累計額合計	7,384,074	9,952,946
純資産合計	51,432,264	52,903,993
負債純資産合計	73,896,135	76,176,005

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	41,350,482	44,874,783
売上原価	29,641,008	32,433,384
売上総利益	11,709,474	12,441,398
販売費及び一般管理費	※ 7,797,074	※ 8,174,917
営業利益	3,912,399	4,266,481
営業外収益		
受取利息	150,588	127,054
受取配当金	23,569	31,759
デリバティブ評価益	193,712	253,751
為替差益	63,284	—
その他	69,804	130,717
営業外収益合計	500,959	543,283
営業外費用		
支払利息	72,083	79,602
為替差損	—	166,033
その他	9,429	4,717
営業外費用合計	81,513	250,353
経常利益	4,331,845	4,559,410
特別利益		
固定資産売却益	7,781	1,828
特別利益合計	7,781	1,828
特別損失		
固定資産売却損	234	2,264
固定資産除却損	286	1,074
特別損失合計	521	3,338
税金等調整前四半期純利益	4,339,104	4,557,900
法人税、住民税及び事業税	1,070,824	1,419,781
法人税等調整額	286,815	83,889
法人税等合計	1,357,639	1,503,670
四半期純利益	2,981,465	3,054,230
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,981,465	3,054,230

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,981,465	3,054,230
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,999	364,035
為替換算調整勘定	1,245,860	2,388,114
退職給付に係る調整額	△238,532	△183,277
その他の包括利益合計	1,003,327	2,568,871
四半期包括利益	3,984,793	5,623,101
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,984,793	5,623,101

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年12月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式764,100株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が3,499,930千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が3,501,555千円となっております。

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
従業員給料及び手当	2,625,633千円	2,793,429千円
貸倒引当金繰入額	10,269	△32,724
退職給付費用	△67,647	△37,069
研究開発費	610,779	524,915
減価償却費	323,228	330,235
荷造・運賃費	668,913	725,369

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,187,900千円	1,359,780千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	日本	アジア	ヨーロッパ	合計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	19,349,806	16,506,319	5,494,356	41,350,482
外部顧客への売上高	19,349,806	16,506,319	5,494,356	41,350,482
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,501,100	3,921,064	18,521	10,440,686
計	25,850,907	20,427,383	5,512,878	51,791,168
セグメント利益	2,727,631	1,517,527	435,542	4,680,702

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	4,680,702
セグメント間取引消去	84,106
全社費用(注)	△852,409
四半期連結損益計算書の営業利益	3,912,399

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位：千円)

	日本	アジア	ヨーロッパ	合計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	20,539,279	19,046,187	5,289,316	44,874,783
外部顧客への売上高	20,539,279	19,046,187	5,289,316	44,874,783
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,637,633	5,036,846	26,713	11,701,193
計	27,176,913	24,083,033	5,316,030	56,575,977
セグメント利益	2,858,531	1,927,732	345,461	5,131,724

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	5,131,724
セグメント間取引消去	135,809
全社費用（注）	△1,001,052
四半期連結損益計算書の営業利益	4,266,481

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。